

平成29年度 認定こども園自己評価結果報告書

1. 本園の教育目標

人間性を豊かに育て、幼児期に必要な様々な経験を通して、心身ともに健全でたくましい子どもが育つよう3つの教育目標を掲げている。

1. げんきであかるい子
2. こころのやさしい子
3. よく考え、工夫し、表現する子

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

ICT 化推進事業に伴う園支援システムを導入したことにより、保護者とのやり取りの利便性を高めると共に、個人情報管理の向上にも努めた。また、教育・保育要領改訂についての研修を重ね、子ども一人ひとりが自己を十分に発揮し、自ら学ぶ力が獲得できるような保育計画の立案をすすめた。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A…達成できた B…概ね達成できた C…概ね達成できたが課題が残る D…努力が必要

評価項目	取り組み状況	評価
食物アレルギー、熱性けいれん等の疾患への理解を深め、必要な知識を身につけると共に、園児一人ひとりの健康状態を把握し、緊急時の対応が適切に行えるよう、研修を行う。 また、職員間で情報を共有し、子どもたちが安全で安心な園生活が送れるよう、努めていく。	食物アレルギーへの理解を深めるための研修を行い、緊急時の対応について学ぶとともに、マニュアルを作成した。また、職員一人ひとりが食物アレルギー児や熱性けいれんなどの疾患をもつ園児への対応を共通理解できるような表示を試みたが、更なる努力や安全への配慮が必要である。	B
幼保連携型認定こども園保育・教育要領の改訂を受け、研修への参加や職員間での研究を行い、保育計画の立案に活かし、実践していく。	園外研修へ積極的に参加し、改訂内容の研究・理解をすすめた。その上で、認定こども園としての特色を活かした保育計画の立案をし、評価反省を行う中で、子どもたちがいきいきと活動できるような保育を目指してきたが、指導計画については更なる研究、見直しを進めていくべきである。	C
保護者、職員共に子どもたちがよりよく育っていくためにという思いに基づき、協力していける体制を整えていく。また、社会全体の子育て世代が抱える課題を理解し、認定こども園として取り組むべき課題を模索し解決に努める。	園児の生活全体を豊かにするために、家庭環境の把握を深めると共に園からの情報提供も行うことで共に子育てをすすめる意識を高めた。またアンケートを実施し、結果を公表した上で必要なものについては園の考えを示した。	B
昨年度に引き続き小学校と連携しながら、就学に向けての課題を設定し、就学に必要な力が獲得できるよう、年長児のみならず全ての学年で見通しを持った取り組みを行う。 また、一人ひとりが安心して就学できるよう、子育て支援や療育支援の充実を図ると共に、研修等を通し保育者の知識向上を目指していく。	保育者の小学校見学や授業参観への参加、小学校教諭経験者から助言を頂きそれらを提供することにより、年長児、及び保護者が安心し、期待感を持って就学できるよう努めた。また、より深く園児一人ひとりの特性の理解に努め、安心して就学できるよう指導、支援を続けた。	A

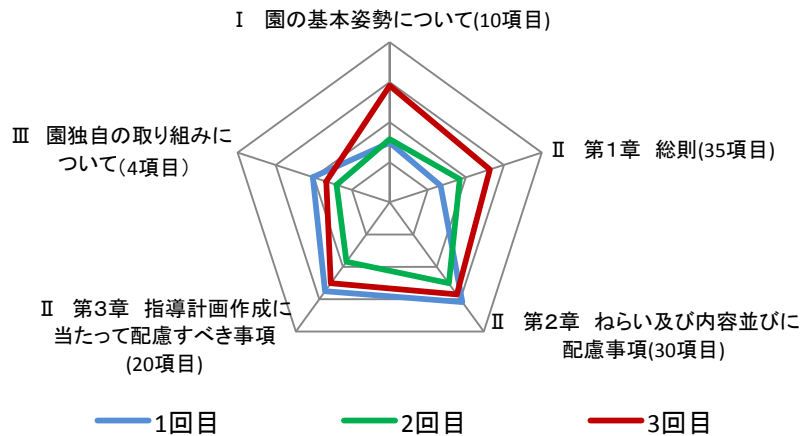
4. 自己評価結果と分析

- ・評価方法

各職員が、学期末に各自自己評価を行い（年3回）、全体の統計を出す。

- ・分析

各職員の同じ項目の評価が低いことから、その項目について園での取り組みが薄いことがわかる。研修等を重ねていく中で、次第に改善されている。



5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

各職員が研修・研究を繰り返す中で、職員間で情報の共有や伝達を行いながら協力して課題に取り組み、工夫している姿が見られたので、概ね目標は達成できた。更なる課題への取り組みを期待する。

6. 今後取り組むべき課題

認定こども園教育・保育要領改訂についての理解と実践	改訂内容の理解・研究を更にすすめながら、園の教育目標にそった保育計画の立案を行い実践する。
保育教諭の資質の向上	園外研修へ積極的に参加し、研修内容の報告、研究を全職員で行うことにより、園全体の保育の向上に繋げていく。また、園内保育研究を重ねることで指導改善をすすめていく。
特別支援教育の理解と充実	特別な支援の必要な子どもに対する適切な指導や援助、関わりについて学べるよう研修会に参加したり、専門機関から助言を受けたりする。必要に応じて専門機関と連携しながら指導計画を作成し実践していく。また相談担当職員がいつでも対応できる体制を作る。
保健衛生・安全管理への対応の確立	各種マニュアルを整え、緊急時の対応が適切に行えるよう繰り返し研修を行う。また、日常の健康管理や疾病予防、安全点検の実施や園児の安全能力の向上を図る。

7. 学校関係者の評価

学校関係者より、認定こども園運営は良好との意見をいただいた。自己評価を行い、職員全員が新たな課題に積極的に取り組む中で、より良い保育を行おうという向上心が見られる。との評価をいただく。

8. 財務状況

会計処理についても適切に処理されている旨の報告を公認会計士より受けている。